

# 宅地上昇、郊外に広がり

## 石川県内公示地価

### 田上、南森本… 低金利で環境整う

21日に発表された石川県内の公示地価では、金沢駅周辺や金沢市中心部の回復傾向が郊外の住宅地にも広がった。景気の回復や過去最低水準の住宅ローン金利を背景に新設住宅着工戸数が伸びており、田上、南森本町などが下落から上昇に転じた。

【一面に本記】

金沢市内には調査対象の住宅地が63地点ある。このうち上昇したのは前年より12カ所多い38カ所だった。下落から上昇に転じたのは田上2丁目、南森本町、三ツ新町4丁目、田上2丁目、マイナス1・0%からプラス2・9%となり、20年ぶりに上昇した。横ばいから上昇したのは光が丘2丁目、北國新聞社(ハリ)あすなろ(から)



住宅地の地価が下落から上昇に転じた金沢市田上2丁目周辺。昨年11月、北國新聞社(ハリ)あすなろ(から)

市町別の平均変動率の順位 (単位: %)

住宅地		商業地		全用途	
順位	市町名	平均変動率	順位	市町名	平均変動率
1	野々市市	▲1.5	1	金沢市	▲4.5
2	津幡町	▲1.4	2	加賀市	▲1.6
3	金沢市	▲0.8	3	野々市市	▲0.3
4	白山市	▲0.3	4	川北町	▲0.5
5	川北町	▲0.3	5	能美市	▲1.0
6	小松市	▲0.5	6	小松市	▲1.2
7	能美市	▲0.8	7	白山市	▲1.2
8	内灘町	▲1.0	8	七尾市	▲1.4
9	かほく市	▲1.3	9	かほく市	▲1.6
10	加賀市	▲1.8	10	輪島市	▲1.7
11	七尾市	▲1.9	11	津幡町	▲2.4
12	羽咋市	▲3.3	12	津幡町	▲4.1
13	輪島市	▲3.6	13	志賀町	▲4.6
14	志賀町	▲3.7	14	能登町	▲4.9
15	能登町	▲3.9	15	珠洲市	▲5.4
16	穴水町	▲5.0	16	穴水町	▲5.5
17	珠洲市	▲5.5	17	珠洲市	▲5.4

※総務省標準地から算出。中能登、宝達志水町は調査地点がない。内灘町は商業地の調査対象なし。▲はマイナス

昨年4月〜今年1月の県内の住宅着工戸数は前年同期比10・2%増の6790戸だった。足元では長期金利固定住宅ローン「フラット35」の3月の金利(融資率9割以下、返済期間21年以上)が1・12%と、過去最低水準を維持している。ひまわりほむ(金沢市)社長の加藤田和夫(夫木)造住

宅協会副会長は「現状は低金利が何とか地価の上昇分を打ち消してくれているが、過熱しないか心配だ」との認識を示す。北陸ミサワホーム(同)の林論高社長は「上昇は需要の高まりを反映している。郊外も上がり始めたところを見ると、上昇傾向は確かなものになっている」と話した。

一番の会が例会  
キリンビール  
キリンビール北陸支社と石川支店の「石川一番の会」例会写真は21日、金沢市のホテル日航金沢で開かれ、キリンビールのファン約340人が地元食材を使



新支店は金沢駅西の通称50号道路沿いに位置し、4階建てビルを改装して借り受けた。法人担当の人を配置し、竣工式では数馬嘉雄理事長が「旗艦店として最善の金融サービスを提供する」とあいさつした。

## プラス地点 8割が金沢

### 能登は前年割れ続く

石川県内で地価が上昇した68地点を市町別にみると、金沢市が54カ所、全体の約8割を占めた。金沢以外で今年新たにプラスとなった地点は白山市の1カ所のみで、新幹線の開業効果を背景に県都の土地需要が際立っている。

対照的に、過疎化が進む能登では下落に歯止めがかかっていない。奥能登4市町は昨年、新幹線開業に伴う観光客の増加を背景に下げ幅が縮小したが、今年の下落率は珠洲市が5・4%で横ばいとなり、輪島市では2・7%から2・8%に、穴水町では4

■ 価格の上位地点 住宅地

価格	前回価格	変動率	
①金沢市彦三町1丁目	14.9	14.3	4.2
②金沢市広岡1丁目	14.2	13.4	6.0
③金沢市長土堀1丁目	13.3	12.8	3.9
④金沢市石引4丁目	13.1	12.8	2.3
⑤金沢市泉野出町2丁目	11.5	11.1	3.6

■ 価格の上位地点 商業地

価格	前回価格	変動率	
①金沢市本町2丁目	88.0	77.0	14.3
②金沢市香林坊2丁目	71.0	65.0	9.2
③金沢市武蔵町	61.5	—	—
④金沢市片町2丁目	58.0	53.0	9.4
⑤金沢市広岡1丁目	54.0	45.0	20.0

■ 下落率の上位地点 住宅地

変動率	前回変動率	価格	
①珠洲市上戸町北方式	▲5.6	▲5.8	1.6
②穴水町川島	▲5.4	▲6.0	2.0
③珠洲市坂田町式丸	▲5.3	▲5.6	1.4
④能登町姫吉式	▲5.3	▲5.6	0.8
⑤穴水町川島	▲4.5	▲2.7	1.7

■ 下落率の上位地点 商業地

変動率	前回変動率	価格	
①珠洲市坂田町春参	▲5.9	▲5.6	2.2
②穴水町大町	▲5.5	▲5.6	2.4
③珠洲市野々江町	▲4.9	▲4.7	1.7
④能登町宇出津新吉	▲4.9	▲5.2	3.5
⑤志賀町富来領家町	▲4.9	▲5.5	1.9

価格は1平方メートル、単位万円。1000円未満は切り捨て。▲はマイナス。変動率は%

る。土地の取引自体も少ない」と話した。

半年の比較  
伸びが鈍化  
把握できる石川県内の14地点を比べると、昨年7月〜今年1月の平均上昇率は2・2%で、昨年1〜7月の2・6%から伸びが鈍化した。

## 4温泉地が 上昇を維持

### 山代は伸び拡大

金沢市以外の商業地では、加賀市山代、山中、片山津、七尾市和倉の4温泉地が前年に続いて上昇した。新幹線開業に伴う宿泊客数の増加は一段落したものの、開業前との比較では依然として多く、収益性の高さがプラスに評価されたとみられる。

最も上昇率が高かったのは山代の2・6%で、前年の1・7%からプラスを拡大した。山中は1・8%から1・7%、片山津は1・2%から0・4%、和倉は2・0%から1・0%と、それぞれ縮小した。加賀市によると、唯一、前年の上昇率を上回った山代は、開業2年目の入り込みが1年比4・0%増となっており、同温泉観光協会は「入り込みが好調だったことが地価に反映したのではないかとした。このほか、観光地では輪島市朝市通り(本町通り)が前年の1・4%上昇から横ばいに転じた。NHK連続テレビ小説「まれ」の放映が終了し、新幹線効果にも一感が見られる中、本町商店街振興組合の小浦町理事長は「前年の水準を維持できて良かった」と前向きに受け止めた。朝市への昨年1年間の入り込み客数は前年比13・0%減の6万2900人だった。

## 北陸経済

興能信金金沢支店  
西念で移転開業  
興能信用金庫金沢支店写真は21日、移転先の金沢市西念1丁目で開業した。イベントなどに活用できるスペースを3階に設けたほか、4階には100人程度を収容できる会議室がある。



新支店は金沢駅西の通称50号道路沿いに位置し、4階建てビルを改装して借り受けた。法人担当の人を配置し、竣工式では数馬嘉雄理事長が「旗艦店として最善の金融サービスを提供する」とあいさつした。